

遠州三山

1. 目指すべき景観像

多くの人々が訪れる
自然豊かで四季の彩りを映し出す古刹 遠州三山



① 四季の彩りを楽しみながら散策できる古刹



② 遠州三山を周遊して楽しむ景観

遠州三山は、「四季の彩りを楽しみながら散策できる古刹」及び「遠州三山を周遊して楽しむ景観」の2つの側面があるため、それぞれについて地域特性及び景観づくりを進める方向性を整理します。

① 四季の彩りを楽しみながら散策できる古刹

(1) 法多山尊永寺



厄除観音 法多山

春は桜、夏はホタル、秋はイチョウが美しく、山道の杉並木は袋井市景観重要樹木に指定されています。室町時代から伝わる「田遊祭」は民俗文化財に指定されており、「節分祭」「万灯祭」「全国だんごまつり」「法多山さくらまつり」などの行事には大変な賑わいを見せています。一方、門前の店舗では、高齢化や後継者不足の問題を抱え、年間を通して店を開くのが厳しい状況であり、平日に閉めている店も多く賑わいに欠けます。今後、多くの観光客を楽しませる空間としていくために、道路の美装化や門前街を構成する店舗が協力して賑わいを演出するなど、統一感を持たせる景観づくりが必要です。

(2) 萬松山可睡齋



花の名所、徳川家康ゆかりの寺

11代目の住職が幼い頃の徳川家康を戦乱の中から救い出しかかったことから、家康と親交が深く「可睡齋」の名前も家康が名付けたと伝わるお寺です。花の寺としても名高く、春はぼたん・ゆり、夏はサギ草、秋には紅葉、冬は寒牡丹を楽しむ客で賑わいます。境内のぼたん苑では、60種、2,000株のぼたんが咲き誇り、「可睡齋ひなまつり」「秋葉の火祭り」にも多くの人を訪れます。可睡齋の門前通りは、一般道で双方からの通り抜け車両が多く、道路幅も狭いため歩行するには危険であり、ゆっくり立ち寄れるような状況ではないため、交通規制や乗り入れルールの検討が必要です。

(3) 医王山油山寺



境内の中にいくつもの古と四季が香る 目の霊山

真言宗の古刹で、孝謙天皇が眼病の折、境内にある「るりの滝」の水で洗ったところ快癒したことから、眼病治癒の寺として広く信仰を集めています。山門、三重塔、本堂内厨子が国指定重要文化財、本堂、書院、方丈、御霊杉が県指定文化財であり、境内の中にいくつもの貴重な建造物があります。広大な境内には木々が茂り、四季折々の美しさを見せています。新緑や紅葉シーズンには来訪者が多いが、トイレが老朽化しており、改修に向けた検討が必要です。

〈景観形成の主な課題〉

- ・平日に閉めている店が多く賑わいに欠ける
- ・歩行者と自動車の混在
- ・トイレの老朽化

② 遠州三山を周遊して楽しむ景観

(1)観光



観光交流客の5割以上が訪れる「遠州三山」

遠州三山は、袋井市の主要観光拠点であり、「遠州三山風鈴まつり」や「遠州三山 秋のライトアップ」などが行われており、袋井市の観光交流客数の5割以上が遠州三山に訪れています。観光旅行者の約8割が県内からの旅行者であり、4人以下の少人数で、自家用車での日帰り旅行として訪れることが多く、滞在・滞留時間が短く、旅費消費額が少ない傾向です。一方、2回以上の来場者数が約6割と、リピーターが多いのも特徴です。

(2)交通



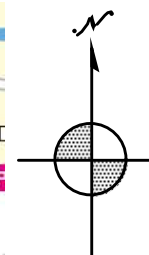
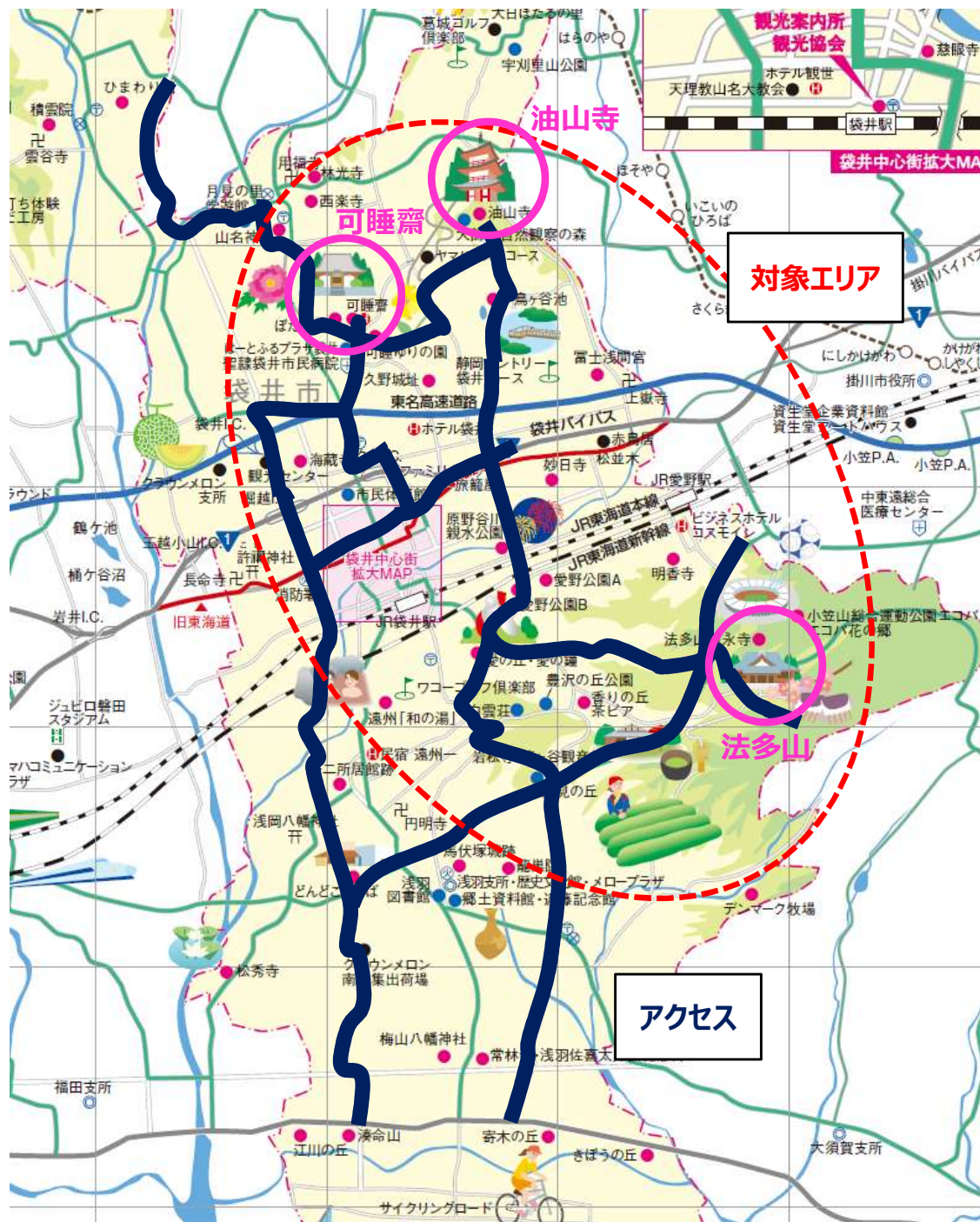
快適な周遊のための誘導案内

来訪者の7割以上が、自家用車での来訪のため、快適に周遊を楽しめるように、三山をつなぐアクセス道路や幹線道路からの適切な誘導ができるよう、市内に乱立されている誘導看板を整理し、不要看板の撤去や、国際化に対応した統一されたデザインの看板の整備が必要です。

〈景観形成の主な課題〉

- ・遠州三山全体の一体的な周遊性の向上が必要
- ・道路沿道の景観の向上が必要
- ・誘導看板の形状、デザインなどが統一されていない

3. 対象エリア



※アクセスも本計画の対象とする

地域特性や景観づくりの方向性から、景観目標と景観づくり方針を整理します。

多くの人々が訪れる 自然豊かで四季の彩りを映し出す古刹 遠州三山

目標 1

古刹の散策を楽しめる
おもてなしの景観づくり



目標 2

遠州三山の周遊を
快適に楽しめる景観づくり



景観づくり方針

- ①快適に散策を楽しめる景観づくり
- ②門前街を満喫できる景観づくり

景観づくり方針

- ①のんびり快適に周遊を楽しめる仕組みづくり

対象エリアへの入口・アクセス部における景観形成

目標1 古刹の散策を楽しめるおもてなしの景観づくり

方針1-① 快適に散策を楽しめる景観づくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報環境の整備の推進 (Wi-Fi環境等の整備) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 寺、観光協会、市
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● トイレの整備 ● 国際化に対応した観光案内看板の整備 ● 歴史・文化資源の適切な維持管理 ● 景観重要樹木の維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市、寺 ● 市、寺 ● 寺 ● 寺

方針1-② 門前街を満喫できる景観づくり

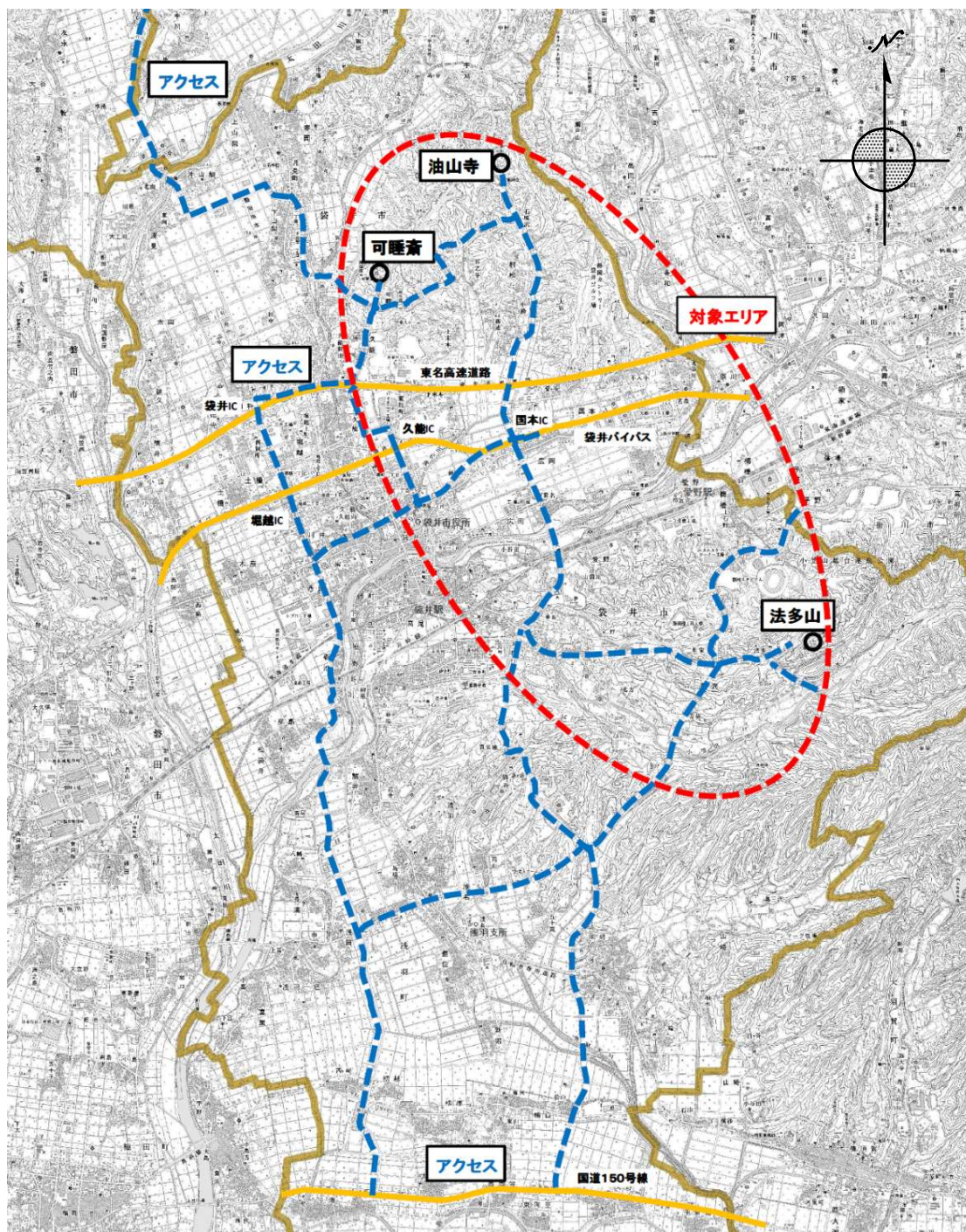
	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 統一感を持たせるための景観づくり ● 店舗どうしの連携体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ● 門前、寺、市 ● 門前
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩行者の安全対策 ● 道路の美装化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 門前、寺、市 ● 門前、寺、市

目標2 遠州三山の周遊を快適に楽しめる景観づくり

方針2-① のんびり快適に周遊を楽しめる仕組みづくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光パンフレットの更新・周知 ● ウォーキングルートの周知 ● 周遊マップの作成 ● アクセス道路や幹線道路からの誘導看板の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 寺、観光協会、市 ● 寺、観光協会、市 ● 観光協会、市 ● 市
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 三山の連携体制の構築 ● ウォーキングコースの維持、管理 ● 市内に乱立されている誘導看板の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ● 寺、観光協会、市 ● 市 ● 市

6. 景観施策(案)のイメージ図

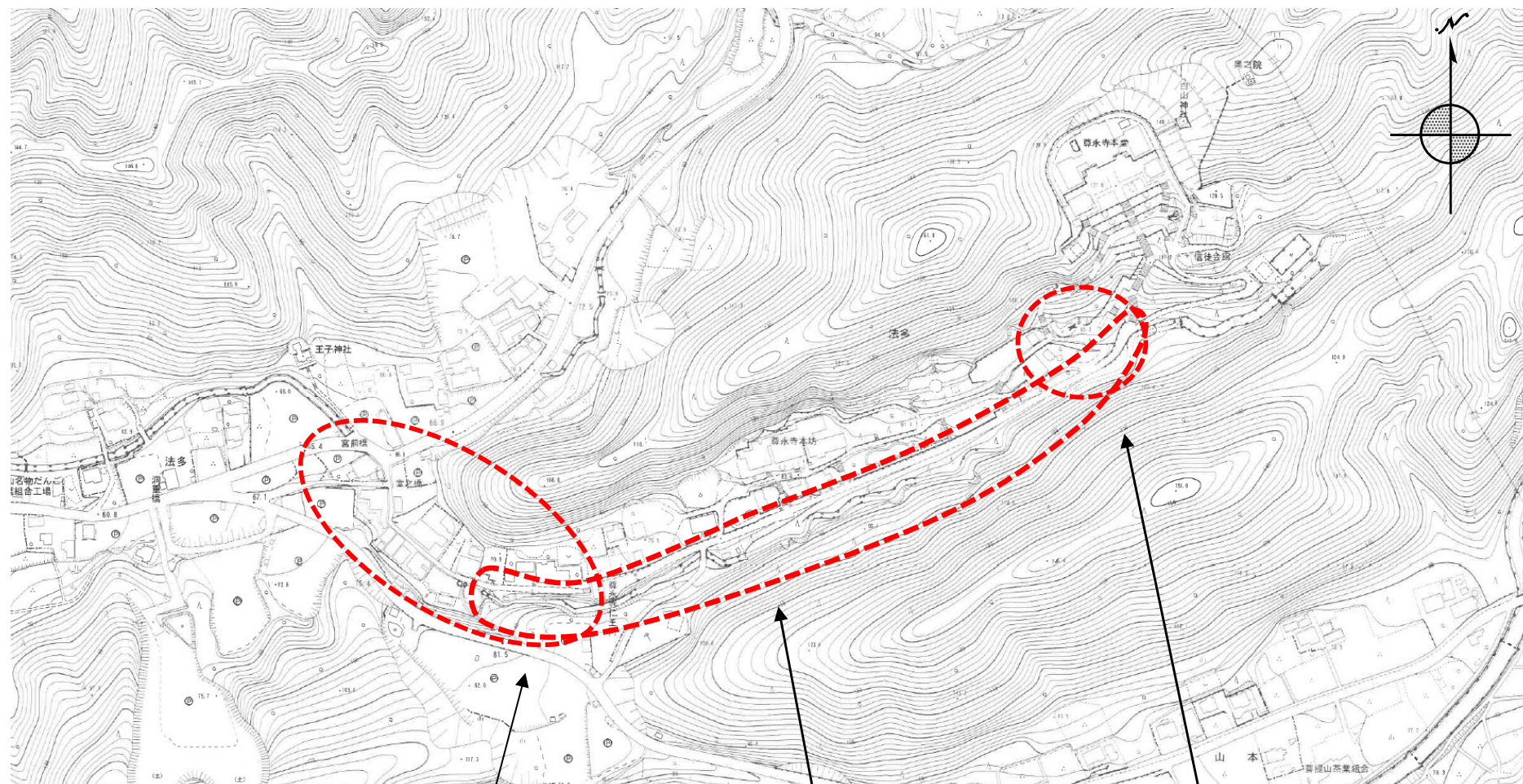


全体

- ・情報環境の整備の推進
- ・観光パンフレットの更新・周知
- ・ウォーキングルートの周知
- ・周遊マップの作成
- ・アクセス道路や幹線道路からの誘導看板の整備
- ・国際化に対応した観光案内看板の整備
- ・歴史・文化資源の適切な維持管理
- ・三山の連携体制の構築
- ・市内に乱立されている誘導看板の整理

※アクセスも本計画の対象とする

法多山



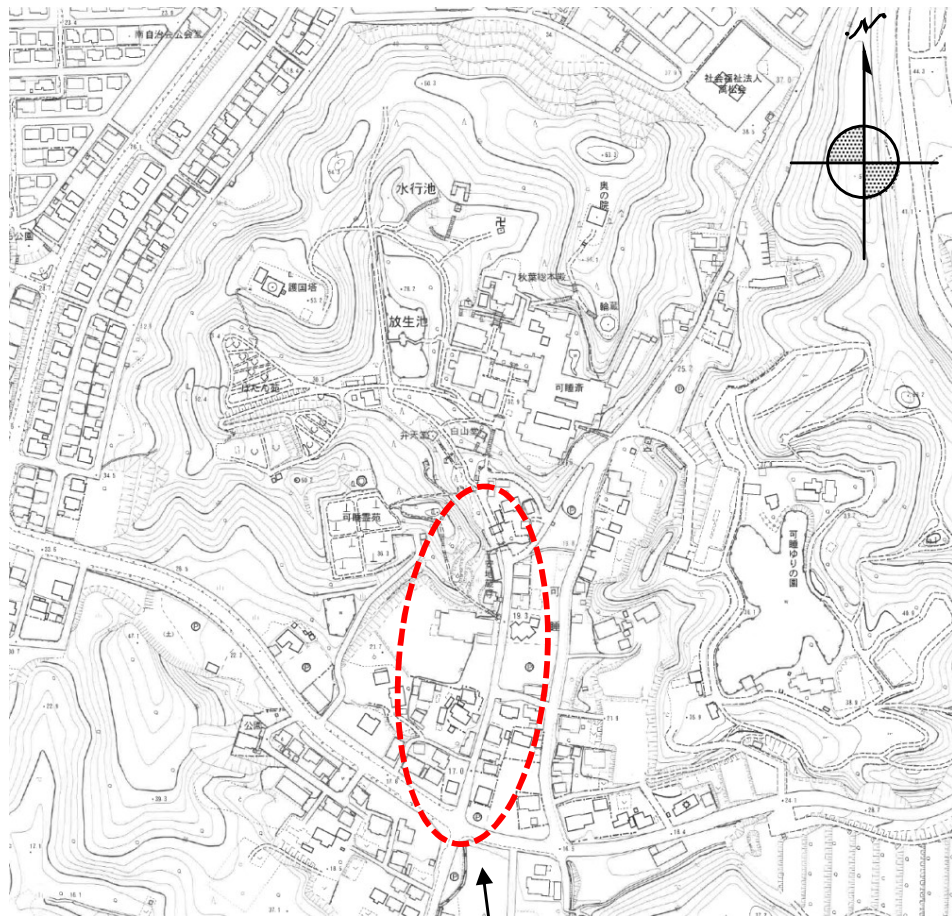
- ・統一感を持たせるための景観づくり
- ・店舗どうしの連携体制の構築
- ・道路の美装化

・景観重要樹木の維持管理

・トイレの整備

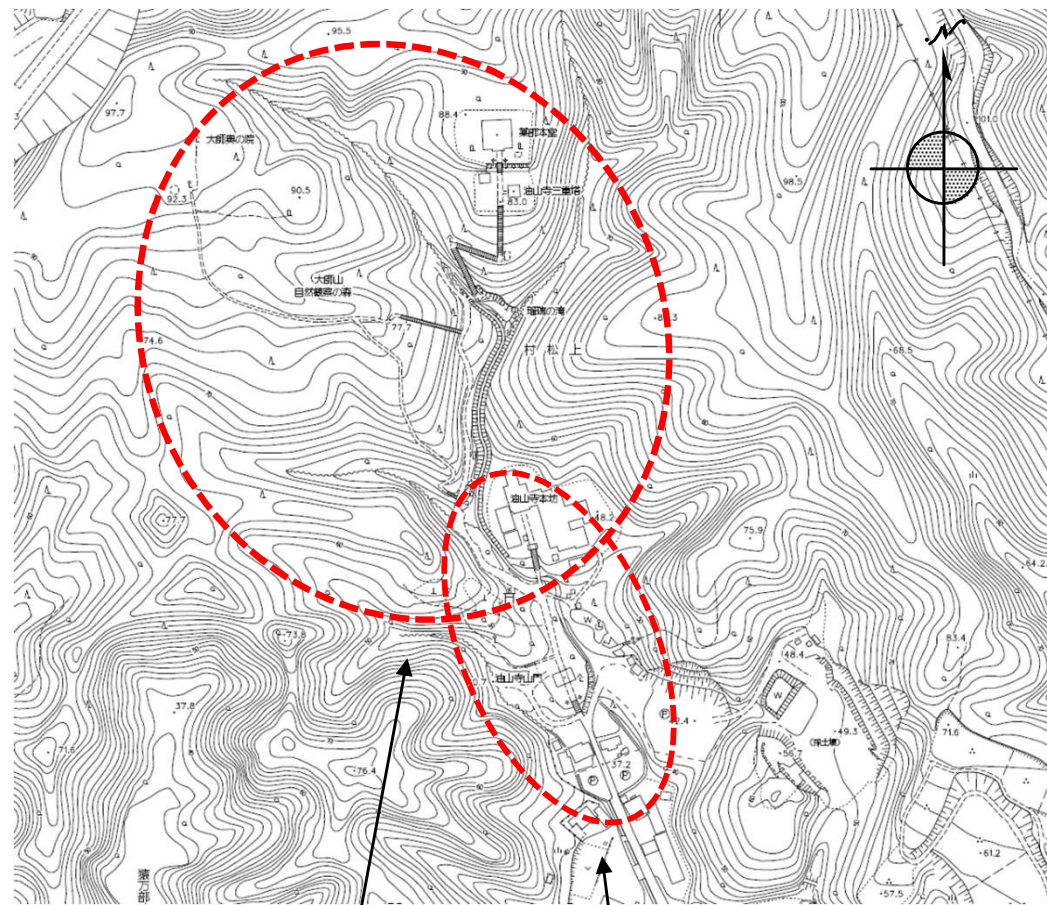
6. 景観施策(案)のイメージ図

可睡齋



- ・統一感を持たせるための景観づくり
- ・店舗どうしの連携体制の構築
- ・歩行者の安全対策
- ・道路の美化化

油山寺



- ・ウォーキングコースの維持、管理

- ・統一感を持たせるための景観づくり
- ・トイレの整備
- ・歩行者の安全対策